

ライブリバント+ラズクルーズ療法の治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール 症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	2～14日目
アレルギー予防	 15分	お休み
解熱剤 (アセリオ)	 15分	
ライブリバント (アミバンタマブ)	 2時間	
ラズクルーズ (ラゼルチニブ)	 1日1回	

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

肝機能障害

血液中の肝酵素（AST,ALT,総ビリルビン値など）の数値が基準値より高くなります。定期的に肝機能検査を行います。よく現れる症状は、皮膚や白目が黄色くなる、いつもより疲れやすいなどがあげられます。

〈ご自身でわかる副作用〉

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

便秘・下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

間質性肺疾患

空気を取り込む肺胞という器官が炎症を起こす病気です。初期症状は、息切れ、発熱、痰のない乾いた咳（空咳）、疲労などがあげられます。これらの症状に気付いたら自分で対処せず、すぐに医師、看護師、薬剤師に連絡して下さい。また、60歳以上の方や肺の病気や手術をしたことがある方、呼吸機能が低下していたり酸素を投与している方、肺に放射線を照射したことがある方、腎障害のある方は間質性肺疾患が起こりやすい可能性があるため特に気を付けましょう。

発疹、ざ瘡様皮疹

皮膚が赤くなったり、かゆみをともなうことがあります。症状が強く出た場合は、ぬり薬や飲み薬を使うことがあります。

インフュージョンリアクション

投与中から投与後、アレルギーに似た症状が出る場合があります。『寒気』『気分が悪い』『顔や体がかゆい』『息苦しい』『頭痛』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

静脈血栓症

血管の中に血の固まり（血栓）が出来てしまうことがあります。息苦しさ、足の腫れなどの症状を感じるがあれば直ぐに報告してください。

⇒血液をサラサラにする薬剤を追加して予防します。

爪囲炎

治療開始4～8週間後に手足の爪の周りの皮膚に炎症がおこります。ひどくなると、爪の周りの肉が盛り上がり、強い痛みをともないます。

⇒症状の軽いうちから早めにケアしていきましょう。保湿もあわせておこなうことが重要です。

体液貯留、低アルブミン血症

身体の中の水分バランスが崩れて、手や足にむくみを生じることがあります。また、原因の一つとして血液中のアルブミンが低くなることが挙げられています。

⇒アルブミンに関しては血液検査で定期的に確認を行います。

★すぐに連絡をいただきたい副作用

- ★「寒気」、「気分が悪い」、「顔や体がかゆい」、「息苦しい」、「頭痛」（インフュージョンリアクション）
- ★「胸の痛み」、「足の腫れ」、「足の痛み」（血栓症）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。

国立病院機構 東京病院 042-491-2111(代表)